PART2 比較形・仮定形

二 比較形

①
A 〔ナリ/タリ/シ/ニ〕 乎・于・於 N〔ヨリ（モ）〕 ＝Nヨリ（モ）A／（NよりもA）

（例）霜葉紅二於二月花一。〔霜葉は二月の花よりも紅なり。〕（霜にあたって紅葉した葉は二月の花よりも赤い。）

注　二月花…ここでは桃の花のこと。

②
不レ如カ／弗レ若カ　～ニ ＝～ニしカず／（～の方がよい・～に及ばない）

（例）不如釈臣。〔　　　　〕（　　　　）

注　釈…「釈（ゆる）す」。許す。

③
莫レ如クハ／無レ若クハ　～ニ ＝～ニしクハなシ／（～にこしたことはない・～が一番よい）

（例）莫如良医。〔　　　　〕（　　　　）

④ {莫レ／無レ} A^ハ 二 於 N 一^ヨリ(モ)　＝Nヨリ（モ）Aハなシ／（NよりもAなものはない）

⑤ **莫^シレ A（＝連体形）^ハレ 焉^これヨリ**　＝これヨリAハなシ／（これが一番Aだ）

問三　「云^ハバレ無レ効^シト、則<u>不如貧医</u>。」の傍線部を平仮名で書き下せ。

問四　「夫鬱莫下甚二於病一者上。」の書き下し文として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　それ鬱は病より甚しきもの莫し。
イ　それ鬱は病より甚しきこと莫きか。
ウ　それ鬱は病を甚しくすること莫し。
エ　それ鬱より病を甚しくするもの莫し。
オ　それ鬱として病を甚しくすること莫かれ。

三 仮定形

① 若～ / 如～ ＝もシ～バ／（もし～ならば）

＊下から返らない

（例）若シ然ラバ、…〔若し然らば、…〕（もしそうならば、…）

② 苟～＝いやシクモ～バ／（もし～ならば・かりにも～）

＊①より強い仮定

（例）苟クモ遭ハバ二其ノ時一ニ、…〔苟くも其の時に遭はば、…〕（かりにもしかるべき時世にめぐり会うなら、…）

③ 縦～ / 仮令～ ＝たとヒ～トモ／（たとえ～としても）

（例）縦ヒ遮護シテ留ムルモ二旧葉ヲ一、…〔縦ひ遮護して旧葉を留むるも、…〕（たとえ覆い守って古い葉を留めておいたとしても、…）

④ **雖**～＝～トいへどモ／（たとえ～としても・～だけれども）

（例）雖レ賢ナリト…〔賢なりと雖も…〕（たとえ賢者であっても…／賢者であるけれど…）

⑤ 使二シメバNV一、…＝NヲシテVしメバ、…／（もしNがVするならば、…）

⑥ 微二なカリセバ～一、…＝～なカリセバ、…／（～がなかったならば、…）

問五　次の文の傍線部aの読みを送り仮名も含めて平仮名で示せ。また傍線部bをすべて平仮名で書き下せ。現代仮名遣いでよい。

「[a]若必ズ禁ジテ、其レ不レ変ゼレバ、則チ[b]雖二造物一有レ所レ不レ能。」

a＝

b＝

第5講　PART2　確認問題

① 「不若己者」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　己より若(わか)からざる者
イ　己の若(ごと)くせざる者
ウ　若(も)しくは己ならざる者
エ　己に若(し)かざる者

② 「苟能ク弭(や)メレ兵ヲ…」の傍線部の、送り仮名を含めた読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いづくんぞ　　イ　いやしくも
ウ　しかも　　エ　けだし

③ 「雖二貧賤廝(し)養(やう)一、…」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　であれば　　イ　であっても
ウ　だけではなく　　エ　よりはむしろ

④　「苛政猛二於虎一也。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　悪政は虎よりも恐ろしい。
イ　悪政は虎のように恐ろしい。
ウ　悪政が虎によって行われた。
エ　悪政は強い虎のようなものだ。

⑤　「微二管仲一、吾其被リレ髪はつヲ左ニセンレ衽えりヲ矣。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　管仲のおかげで
イ　管仲のためならば
ウ　管仲がいなかったならば
エ　管仲が話してくれたので

第5講　PART2　解答

二
②　〔臣を釈すに如かず。〕（私を許した方がよい。）
③　〔良医に如くは莫し。〕（良医が一番よい。）

問三　ひんいにしかず

問四　ア

問五　a　もし
b　ぞうぶつといえどもあたわざるところあり

第5講 PART2 確認問題　解答

〔解説〕

① 「不若」は「しカず」と読み、比較の句法。「若」は複数の句法で使用される文字だが、「不・弗」とセットで使われていれば、まずは、「〜ニしカず」の「比較」から考えるとよい。よって、エが正解。

② 「苟」は「いやしくモ」と読み、「もし〜ならば」の意味。よって、イが正解。

③ 「雖」は「いへどモ」と読み、逆接を表す。古文とは違い、仮定・確定のどちらの意味もあるので、文脈判断が必要であるが、この場合はイの逆接の選択肢のみ。よって、イが正解。

④ 「於」には「場所を示す・比較・使役」の働きがある。ここでの「於」は「A二於N一」（＝NよりもA）の形で用いられる比較形。よって、アが正解。

⑤ 「微二〜一」は「〜なカリセバ」と読み、「〜がなかったならば」の意味。よって、ウが正解。

〔解答〕

① エ　② イ　③ イ　④ ア　⑤ ウ